

臨床医学委員会分科会の設置について

分科会等名：手術データの全国登録と解析に関わる分科会

1	所属委員会名	臨床医学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本全国の消化器外科、心臓外科、呼吸器外科、乳腺外科をはじめとする外科手術の現状を把握するため平成22年（2010年）4月にNational Clinical Database（NCD）が設立され、全国で日々行われた手術が登録されるシステムが構築された。平成26年（2014年）からは脳外科が本システムに参加予定であり、今後も様々な専門医基盤領域が参画予定である。現状は正確なデータを登録することを第一義としているが、本来の目的はそのデータを有効に利用し、施設間格差の解消を図り、日本の外科手術の質の向上を図ることである。ただそこに至るまでには倫理的な問題を含めて様々な課題がある。それらを解決すべく多角的な視点から提言を行うことを目的として本分科会の設置を希望する。具体的には以下を目的としてNCDのデータの適正な使用について検討する。 ・ 近々、第三者機関による（臨床各科の）専門医認定制度がスタートする。外科系専門医の認定にはNCDデータを利用することになる。そこでNCDデータを専門医制度に連動させることにより、地域ごとの医療資源の適正配置、継続的な教育システムの構築を検討する。 ・ パフォーマンス評価のフィードバックやベンチマーキング方法の工夫により、医療機関ごとに詳細な情報をフィードバックし、医療の質の向上を図る。 ・ 臨床治験に関する問題が大きく報道されているが、適正な臨床治験の推進にもNCDデータが寄与できると考えている。第Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ相試験にNCDデータを連携させることによる産官学との適正な連携を推進する。
4	審議事項	1. 年ごとの外科手術の実施状況・治療成績の全国規模集計に基づく医療の質の向上への適正な貢献 2. データ活用を通じた専門医認定制度との連動 3. データ活用を通じた産官学との適正な連携に係る審議に関すること
5	設置期間	時限設置 平成26年11月21日～平成29年9月30日
6	備考	